

統計とっとり

平成16年10月
第91号
鳥取県企画部統計課
0857-26-7103

統計課ホームページアドレスhttp://www.pref.tottori.jp/tokei1/toukei_index/index2.htm

平野 嘉子さん(鳥取市) 2004年度大内賞受賞



鳥取県では、昭和41年度の荒賀幸吉氏(元県職員)以来、2人目の快挙です。授賞は、平成16年11月18日(木)に沖縄県宜野湾市で開催される第55回全国統計大会の席上で行われます。

平野さんのコメント

「大内賞」受賞の知らせにただただ驚き、戸惑いと緊張の交錯する中、夢のような感激にひたっています。この受賞は「素晴らしい仲間たち」との出会いに始まる「鳥取県統計調査員会の設立から今日までの活動」が認められた証であると思います。つまり、統計調査員会の仲間たちみんなでいただいた賞。私は会長ただだけのこと、全く恐縮の極みです。これも偏に県統計課・各市町村関係者の方々のご理解・ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

平野さん略歴

昭和47年から32年間にわたり、小売物価統計調査、消費動向調査、毎月勤労統計調査、国勢調査、事業所・企業統計調査など各種統計調査に従事。適切かつ正確な調査と他の調査員の指導に尽力されました。

また、平成10年に鳥取県統計調査員会を発足させ、現在まで会長として統計調査員の確保、指導・育成など統計調査員の資質向上に貢献されています。

大内賞の概要

大内賞は、戦後におけるわが国の統計の再建に政府の統計委員会委員長として尽力した大内兵衛博士の業績を記念して、1953年度(昭和28年度)に設けられました。わが国統計界最高の榮譽として、わが国の統計の改善、進歩、発達に特に実務を通じて貢献した個人、団体等を顕彰する賞で、これまで256名と1団体が受賞しています。

その他受賞者

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ・伊東 康光氏 79歳(茨城県) | 現：統計調査員、水戸市統計協会副会長 |
| ・黒岩 美代氏 59歳(東京都) | 元：国土交通省総合政策局情報管理部
建設調査統計課長補佐 |
| ・相馬 勝衛氏 78歳(青森県) | 現：統計調査員、弘前市統計研究会顧問 |
| ・梅峯 靖氏 74歳(千葉県) | 元：総務庁統計局統計基準部統計審査官 |

鳥取県統計調査委員会の活動報告 ～啓発活動について～

鳥取県統計調査委員会が平成10年1月28日に発足して7年目に入りました。会員も全県で130名を超え、様々な面で充実した活動が展開できるようになりました。会の活動には三つの柱（会員の資質向上、啓発活動、会員の親睦・交流）がありますが、今回は啓発活動の報告をします。

I 発足当初

会としての組織途上で、PR活動には取り組めませんでした。調査員一人ひとりが広告塔だとの認識で、調査を一生懸命するのが本筋と考えていました。（この意識は現在でも変わりません。）

II 初めての広報活動

平成12年の国勢調査時、会員の提案で（企画運営は県統計課）、国勢調査のちらしとティッシュ配りをしました。鳥取駅前で、通勤通学の方に、ハッピー姿も凛々しく調査の大切さをPRしました。

III 男女共同参画センターでの活動

社会情勢も変わり、平成13年4月21日、鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」が倉吉未来中心にオープンし、その後、鳥取市には「輝なんせ」もオープンしました。男性も女性も協働し責任を持ちながら、仕事に家事に参画することが望ましい今、“私達調査員にできることは何か”を自問しながら参画してきました。

・パネル展示

よりん彩まつり・記念日フォーラムに、毎年5～8枚のパネルを展示。来場者の方にお話しながら、統計の大切さを説明しました。

鳥取市男女共同参画センター“輝なん

せ”のイベントにも参加しました。

・ステージ参加

平成9年の鳥取県統計大会に初出演で好評を博し、今やロールプレイ（模擬調査風景）は、鳥取県統計調査委員会の十八番になっています。男女共同参画のステージも、統計調査のロールプレイで楽しんでいただきながら、調査の大切さをPRしてきました。

平成16年は、来場者の参加型として〇×クイズを開催。会場の皆様に大いに楽しんでいただき、「男女共同参画と、統計への関心を深めていただけた。」と確信しました。

・その他

平成14年開催の国民文化祭にパネル展示。全国からお越しのお客様へ（特に国関係）、統計の大切さと、意気軒昂な鳥取県統計調査委員会の活動を見ていただきました。（東部・中部・西部共に）

IV まとめ

統計と通りの紙面をお借りし、会の啓発活動のまとめができました。県統計課職員の皆様のご指導の下、今後益々信頼される調査員を目指して努力することをお約束して、報告いたします。

（副会長・森本晴江）



査員会だより

3調査

平成16年度 事業所・企業統計調査
サービス業基本調査
商業統計調査

を終えて

学習会報告

平成16年6月1日、全国一斉に標記3調査が同時に行われたのは、今回が初めての試みでもあり、調査の度に「気づいた点」をまとめ、次回調査の研修項目としている本会ではこの調査について学習しました。

説明会について

- 説明が簡単すぎて理解しにくく、コピーの調査票に記入するなどして、調査対象者に対してどのように説明すればよいか、演習してほしかった。
- 各市町村による調査員説明会は、手引書の要点をまとめたレジュメによって分かりやすく説明されたところがある一方で、担当者の入れ替わりが激しい市町村では指導員による説明も分かりにくかった。
- 初めて調査をする調査員には別枠の時間を取るなど、指導を丁寧にしてほしい。

調査票について

- 3つの調査の調査票が1枚にまとめられていて、個々の調査を経験しない調査員には、分かりにくいものだった。
- 書かなくてもよい部分に※印があったが、意味が分からない調査対象者が多かった。分かりやすい説明にし、※印はもう少し大きいほうが良かった。
- 配布用の袋に調査員の名前を表示する市町村としない市町村があった。調査対象者と調査員の信頼関係からいえば、表示するほうが安心して調査に協力してもらえるように思った。

調査について

- 夜間調査の多い調査員には、蛍光タスキが必要との意見があった。
- 携行用の紙バッグが薄い色なので、夜間、遠

くからでも調査の仕事をしていることが分かるように蛍光入りの目立つ色にしてほしい。

- 暑かったせいか、「リゾート風の服装の調査員や、約束の時間に調査票の回収をしない調査員がいた。」との報告があり、“調査員としての認識を確立する研修が必要”で一致した。
- 廃業された店舗がある反面、小規模店舗（パーマ屋さんなど）が増え、地域経済の動きがありうれしかった。

まとめ

- 3調査が一緒に、調査対象者も混乱、調査員も迷った点はあったが、全体としてはスムーズに進んだ。
- 新聞等による事前のPRがうまく行われていたが、マスコミを使った広報がいつ入るか事前に調査員に教えてほしかった。
- 何年、何十年調査をしていても、「いつも初めて、初心を大切に。」をモットーに、新しい情報を学ぶ柔軟な心と、健康を大切にして、調査を続けていきたい。



学習会の様子（於・県立倉吉未来中心）

この人紹介



統計調査員（鳥取市）
太田 容子さん

私が初めて携わった統計調査は、10年前の平成6年全国消費実態調査でした。この調査がきっかけとなり、今日まで調査員を続けてこられたのは、世帯のご理解とご協力、又指導員の方のお陰であると、深く感謝いたしております。

その後、色々な調査に携わらせて頂いておりましたが、人間生身の体です。予見し得ない出来事が起こり、昨年突然、急性虫垂炎で入院手術となってしまいました。

すでに住宅・土地統計調査の指導員をお受けしており、又毎月勤労統計調査の回収時期と重なったこともあって、ベッドの上でも調査のことが頭から離れず、術後4日で退院、その足で回収へと走り回りました。無茶なことをしたように思いますが、その時は責任を果たす為に必死だったように思います。

現在、3回目の全国消費実態調査に携わらせて頂いております。年々、調査活動が難しくなっておりますが、世帯との信頼関係を築けるよう、誠意をもって努力したいと願っております。

調査員の地道な仕事が、やがて国政に反映される貴重な基礎資料になることを思いに留め、これからも人との出会いを大切に、忍耐強く、熱意と爽やかさをもって、今後も調査員活動に励んでいきたいと思っております。



統計調査員（北条町）
柿本 富美子さん

「ごめんください。統計調査員の柿本と申します。」と元気よく初仕事をした頃を思い出します。それから15年が経った現在、調査の度に、「ここは大丈夫かな？」と今でもつぶやきます。快く調査票の記入を受け入れてくださるとまずは一安心。そして全部の回収ができた時のうれしさは万歳そのものです。

統計調査はあらかじめ決められた家や事業所に行くわけですから、どんな人と対応するのか分かりません。顔を見るなり犬を追い払うように戸をピシヤリと閉める家。お願いに行っただけで脅迫行為だの不法住居侵入で訴えてやると電話をかけてくる人。何を勘違いしてか統計調査と聞くだけで拒否される人等、きりがありません。

でも調査の度に新しい出会いもあり、私はその感触が清々しくて大好きです。5年前鳥取県統計調査員会に加入し、そこで誇りを持って調査員をしている多くの素敵な仲間と巡り合い、それが私の励みになっています。



平成16年度

地方職員業務研修(基礎研修)・登録統計調査員研修

今年度の「地方職員業務研修(基礎研修)及び登録統計調査員研修」を合同で9月上旬に県内東・中・西部の県内3か所で開催し、市町村職員15名、登録統計調査員72名が参加しました。

昨年度までは、市町村統計担当職員及び統計普及推進員を対象に専門研修だけを開催していましたが、本年度初めて基礎研修も開催しました。

●研修の内容は次のとおりです。

10:00～10:30	「統計の役割と私たちの使命」 統計課長 福田 忠司
10:30～12:00	「統計とは何？」 「統計担当者、統計調査員のあり方」 統計課課長補佐 恩地 祥行
13:00～13:30	「統計クイズーリラックス・タイムー」 統計課 若手職員
13:30～15:00	「統計調査はどのように行われるか」 統計課主幹 長尾 芳明
15:10～16:00	「統計調査の体験談」 鳥取県統計調査員会長 平野 嘉子氏

今年度大内賞を受賞される鳥取県統計調査員会長 平野嘉子氏を講師に招いて貴重な体験談をお話いただき、最後には統計調査員会員によるユーモアあふれるロールプレイ(模擬調査風景)があり、なごやかに研修を終えました。

終了後に、アンケートを受講者の方全員にお願いました。主な内容は次のとおりです。

<研修の感想>

- ・普段実務に追われ、「統計の基礎」に目を通すこともなかったので、参考になった。
- ・平野氏の体験談を通じて統計調査員の心得を理解できた。 等



<研修風景>

<模擬調査風景>



東部会場



西部会場

<要望>

- ・実務研修を行う前に基礎研修を先に行って欲しい。
- ・統計調査員が参加しやすいよう休日に開催して欲しい。
- ・講演内容をもっと具体的な事例で分かりやすく又要領よく、話し方を工夫して欲しい。
- ・講義式でなく、参加型研修も取り入れて欲しい。 等

みなさんから、参考となる多くの御意見をいただきました。この頂いた貴重な御意見は、今後の研修開催の参考にさせていただきます。

本当にお疲れさまでした。

2005年農林業センサスについて



平成17年2月1日（沖縄県にあつては平成16年12月1日）現在で、“農林業の国勢調査”といわれる「2005年農林業センサス」を実施します。

この調査は、統計法に基づき、農林業の基本構造の現状とその動向を農業集落、市町村段階から全国段階に至る各段階別に明らかにするために実施される重要な統計調査です。

調査結果は国や都道府県、市町村の農林行政の推進に必要な基礎的かつ総合的な統計資料を整備に利用されています。

今回の調査が、これまでも増して役立つものとなるように、皆様の御協力をお願いします。

■調査の対象

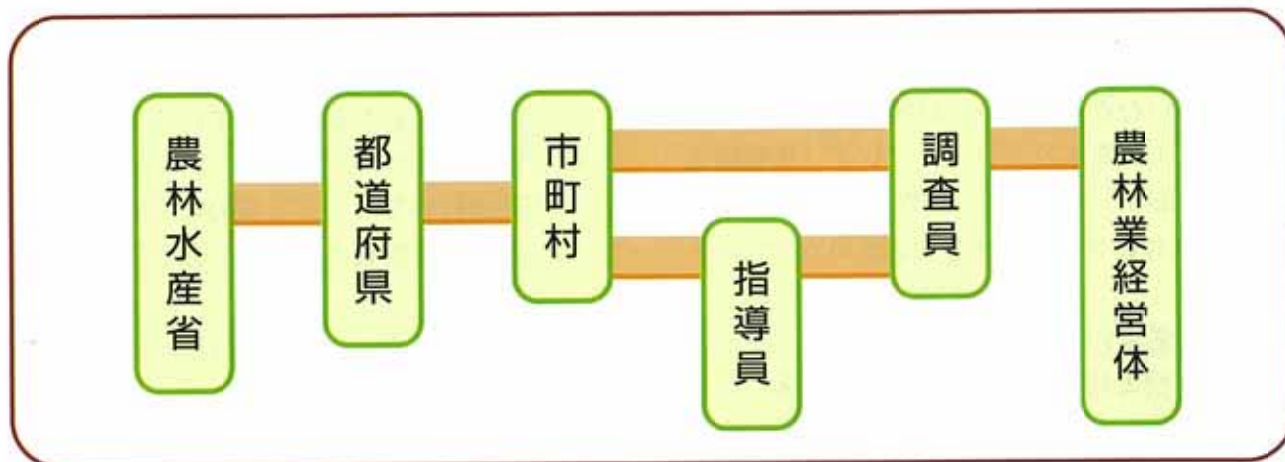
調査は、農林業を営むすべての農林業経営体（世帯または事業所）が対象となります。

※「農林業経営体」とは、次のいずれかに該当する事業を行う方をいいます。

- (1) 経営耕地面積が30アール以上の規模の農業
- (2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数その他の事業が一定規模以上の農業
- (3) 山林面積が3ヘクタール以上の規模の林業
- (4) 農作業の受託の事業
- (5) 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業

■調査の流れ

調査は、次のような流れで行われます。



※他に農林水産省が同省の地方統計組織を通じて直接実施する調査もあります。

■調査員の仕事

調査員は、調査票の配布や取り集めといった調査にとって、最も大切な仕事を担っています。
この調査で行っていただく仕事のあらまは、次のとおりです。

①調査員事務打合せ会への出席

調査の内容や調査員の仕事について説明を受け、調査について理解します。

②調査担当区域内の事業所の確認

市区町村から担当する区域を示す地図と経営体の名簿が渡されます。

この名簿と地図を持って担当する区域をあらかじめ巡回し、すべての経営体の所在を確認します。
同時に、名称の変更等があれば、この名簿に加筆修正します。

③調査票の配布と取り集め

調査員は修正後の名簿に基づき調査票を取り集めます。

④調査票の提出

調査員は、取り集めた調査票を検査・整理し、あらかじめ指定された期日までに市町村に提出します。

その後、市町村では、記入内容を審査し、都道府県に提出します。

■調査することから

すべての農業経営体について、世帯員の構成と就業状況、経営耕地面積、家畜等の飼養状況、農用機械、施設、農産物の販売、保有山林面積などを調査します。

■結果の利用

農林水産省では、調査結果を取りまとめ、刊行物、閲覧などに供する方法により公表します。

また、調査結果は、高齢化の進展、後継者不足、耕作放棄地の増加などが懸念される中で、農山村地域が有する豊かな自然や美しい景観等多面的機能を活かした農山村の発展のための基礎資料として利用されています。



2005年農業センサス

なお、これまでの調査の結果については以下のホームページに掲載しています。

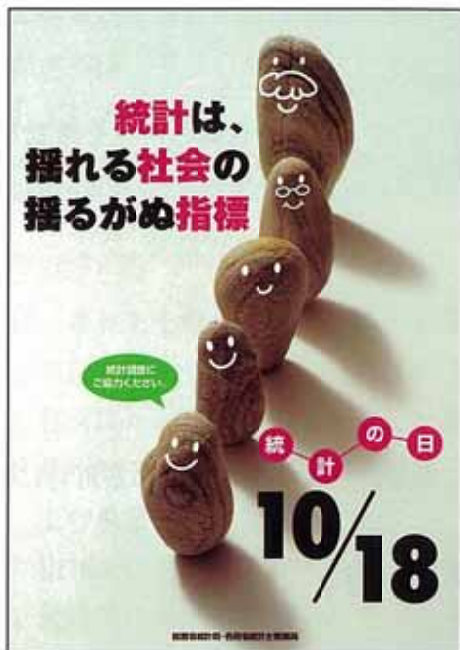
農林水産省 <http://www.maff.go.jp/www/info/index.html>

お問い合わせ先：県庁統計課商工農林係 TEL：0857-26-7107

FAX：0857-23-5033

山根啓子さん 「統計の日」ポスター標語 佳作入選!

総務省統計局が募集を行った、平成16年度の「統計の日」ポスターに使用する標語の審査が6月末に行われ、全国2,516点の応募作品の中から山根啓子さん（米子市統計調査員）の「今を知り明日を示す 統計データ」が佳作に選ばれました。



＜平成16年度「統計の日」ポスター＞

特選標語

「統計は、揺れる社会の 揺るがぬ指標」

菊池 清信さん（岩手県江刺市統計調査員）

山根さんのコメント

受賞しました今、願いますと、この標語募集の通知を受けましたのは、数か月前の寒いときでした。ちょうど調査活動の無い時期でもあり、調査活動啓発の一環として応募し、今回の作品が生まれたことを幸せに思います。この受賞の感激を胸に、今後微力ではありますが、社会のお役に立てますように、努力をしたいと思えます。

総務省統計関係職員様、県統計課の皆様、並々ならぬお世話になりました。意を尽くしません心よりお礼申し上げます。



表彰式記念撮影（左端：山根氏）

統計協会出版物案内

2005年版 鳥取県民手帳 11月上旬発売予定

価格/500円 サイズ/140mm×80mm

カバーの色/2色（赤・黒）

＜その他＞

- ・県勢要覧 平成16年版 A4判 500円
- ・統計年鑑 平成16年刊 12月上旬発売予定
A4判 4,800円
- ・統計月報 毎月発売 A4判 600円

＜申込み・問い合わせ先＞

鳥取県統計協会（県庁統計課内）

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

TEL：0857-26-7103

FAX：0857-23-5033

統計資料の案内

県をはじめ、国、他の都道府県、市町村等で作成・刊行している各種統計資料を取りそろえています。お気軽に御利用ください。

場 所 鳥取市尚徳町101

県立公文書館

電 話 0857-26-8163

E-mail kobunsho@pref.tottori.jp

開館時間 平日 9：00～17：00

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始